

東亜ディーケーケー(株)
SDS 番号:C2805145VIAL-M00350-31
製品名:モノクロラミン HR 試薬バイアル

作成日 2022 年 8 月 17 日
改訂日 2024 年 3 月 15 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : モノクロラミン HR 試薬バイアル
カタログ No : 2805145VIAL
品目コード : —
供給者の会社名称, 住所及び電話番号
東亜ディーケーケー株式会社
東京都新宿区高田馬場 1-29-10
担当部門 : 生産部 HACH 技術課
04-2957-6152
FAX 番号 : 04-2957-9906
推奨用途 : HACH 社計器への使用に限る
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

GHS 分類に該当するデータは得られていない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 化学物質

化学名又は一般名 水
含有量 100.0%

化学式又は構造式 H_2O

官報公示整理番号

化審法 —

安衛法 —

CAS No. 7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移すこと。
皮膚に付着した場合 : 水と石鹼で良く洗うこと。
眼に入った場合 : 上まぶたと下まぶたを持ち上げ、大量の水で 15 分間以上良く洗うこと。医師に連絡すること。
飲み込んだ場合 : 水で口をすすいだ後、多量の水を飲ませること。
急性症状及び遅発性症状 : データなし
の最も重要な徴候症状
医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じて治療すること。

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C2805145VIAL-M00350-31

製品名: モノクロラミン HR 試薬バイアル

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 周囲の火災状況及び環境に応じて、適切な消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : データなし
- 火災時の特有の危険有害性 : データなし
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、自給式呼吸器および防護服を着用する。個人用保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 : 適切な換気を行うこと。
- 環境に対する注意事項 : データなし
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 安全に対処できるならば漏えいを止めること。不活性吸着剤（砂、シリカゲル、酸結合剤、万能結合剤、おがくずなど）で吸収すること。工具を用いて漏出物を適切な容器に集めること。
- 二次災害の防止策 : 漏出物と漏出場所は環境規制に従い浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 本製品を使用する際は、一般的な労働安全衛生上の規則に従うこと。
- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : データなし
- 接触回避 : データなし
- 保管 : 容器は密栓し、涼しく乾燥した換気の良い場所で保管すること。
- 安全な保管条件 : データなし
- 安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 : OSHA PEL ; データなし
ACGIH TLV ; データなし
- 設備対策 : 安全シャワー、洗眼設備、換気設備
- 保護具
 - 呼吸用保護具 : 適切な換気
 - 手の保護具 : 保護手袋
 - 眼、顔面の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡、保護面
 - 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣
- 一般的な衛生上の : 本製品を使用する際は、一般的な労働安全衛生上の規則に従うこと。
- 注意事項
- 環境ばく露対策 : 下水、地面及びあらゆる水域への流出を防ぐこと。大量に漏出した場合は地方自治体へ通知のこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 透明、無色
- 臭い : 無臭
- 分子量 : 18.02g/mole
- 融点／凝固点 : 0°C ; 32°F
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 100°C ; 212°F
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 該当せず
- 引火点 : データなし
- 自然発火温度 : データなし

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C2805145VIAL-M00350-31

製品名: モノクロラミン HR 試薬バイアル

分解温度	: データなし
pH	: 7 (20°C)
動粘性率	: 1cSt (mm ² /s) (20°C; 68°F)
溶解度	: 水: 完全に溶解する (>10000mg/L, 25°C; 77°F) 酸: 溶解する (>1000mg/L, 25°C; 77°F) ほとんどの極性有機溶媒: 溶解する (>1000mg/L, 25°C; 77°F)
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: 該当せず
蒸気圧	: 3.17kPa/ 23.777mmHg (25°C; 77°F)
密度及び／又は相対密度	: 1
相対ガス密度	: 蒸気密度: 0.62
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 該当せず
化学的安定性	: 適切な条件下にて安定である。
危険有害反応可能性	: 通常使用下において特になし。
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: 強酸化剤、強酸、強塩基
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性／刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: データなし
呼吸器感作性	: データなし
又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: 本製品はACGIH、IARC、NTP、OSHAの発がん性物質リストに記載された成分を含まない。
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	: 地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装	: 容器は再利用しないこと。

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C2805145VIAL-M00350-31

製品名: モノクロラミン HR 試薬バイアル

14. 輸送上の注意**国内規制**

陸上規制情報	:	該当せず
海上規制情報	:	該当せず
航空規制情報	:	該当せず
国連番号	:	該当せず
品名（国連輸送名）	:	該当せず
国連分類	:	該当せず
容器等級	:	該当せず
緊急時応急措置指針番号	:	該当せず
輸送の特定の安全対策 及び条約	:	輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、 落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に 行なう。

国際規制**運輸規制情報**

Proper Shipping Name	:	Not Currently Regulated
Hazard Class	:	Not Applicable
Subsidiary Risk	:	Not Applicable
ID Number	:	Not Applicable
Packing Group	:	Not Applicable

航空規制情報

Proper Shipping Name	:	Not Currently Regulated
Hazard Class	:	Not Applicable
Subsidiary Risk	:	Not Applicable
ID Number	:	Not Applicable
Packing Group	:	Not Applicable

海上規制情報

Proper Shipping Name	:	Not Currently Regulated
Hazard Class	:	Not Applicable
Subsidiary Risk	:	Not Applicable
ID Number	:	Not Applicable
Packing Group	:	Not Applicable

その他の情報

本製品はケミカル・キットの一部として出荷されることがある。ケミカル・キットは以下のとおり分類される。国連分類：クラス9（その他の危険物質）、国連番号：3316

15. 適用法令

化学物質管理促進法 （P R T R）	:	該当せず
労働安全衛生法	:	該当せず
毒物及び劇物取締法	:	該当せず

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C2805145VIAL-M00350-31

製品名: モノクロラミン HR 試薬バイアル

16. その他の情報

引用文献等

- ① Hach Company SDS No. M00350 (Deionized (Demineralized) Water)
- ② 化学物質総合検索システム、(独)製品評価技術基盤機構
- ③ ezCRIC+ 日本ケミカルデータベース(株)
- ④ JIS Z7252-2019 および Z7253-2019

記載内容の取扱い

この安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実用性を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

その他

GHS分類は JIS Z 7252 に基づくものであり、HACH社のGHS分類とは異なる場合があります。取扱いの際は、この安全データシートをご参照ください。